

第17回通常総会 議事録

2020年（令和2年）6月4日
特定非営利活動法人（NPO）
日本知的財産翻訳協会（NIPTA）

1. 日時 2020年6月4日(木) 15:00~16:00

2. 場所 商工会館・弁理士会館ビル「6階G」

東京都千代田区霞が関3-4-2

3. 議題

(1) 審議事項

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 2019(令和元)年度事業報告について |
| 第2号議案 | 2019(令和元)年度会計収支決算及び監査報告について |
| 第3号議案 | 2020(令和2)年度事業計画について |
| 第4号議案 | 2020(令和2)年度会計収支予算について |
| 第5号議案 | 役員の人事について |

4. 出席者

現在数 会員総数132名

出席者数 81名(内書面による表決参加70名)

出席者名 理事 安藤惣吉

理事 奥山尚一

理事 尾上道雄

理事 浜口宗武

理事 宮本伸也

理事 矢間伸次

会員 田口滋子 (特許業務法人英和国际特許事務所)

会員 ババット ヴィニット(サンガム IP)

会員 李 東偉 (東日テック株式会社)

会員 長友陽子 (園田・小林知財サービス株式会社)

会員 松元洋二 (株)インターブックス

監事 平沼伸平

オブザーバー 二宮俊一郎

5. 議事経過

(1) 開会

定刻になり浜口常務理事が第17回通常総会の開会を宣言した。

(2) 理事長挨拶

奥山理事長より各理事、監事、各会員へご出席の謝辞が述べられた。現在は新型コロナウイルスの影響で予定通りに活動ができていない状況だが、特にNIPITA特許機械翻訳研究会の活動に対してテコ入れをして今年度も継続していく予定であり、こういっ

た活動を通して各理事、監事、各会員のご協力のもと当協会の知名度を上げていきたいと考えている旨の意見が述べられた。

(3) 議長選出

定款第26条に従い、議長の選任について諮ったところ「司会一任」の声があり、司会より奥山理事長を指名し、全員異議なくこれを承認した。

(4) 議事録署名人の選出

議長は議事に先立ち、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、「議長一任」の発言があり、議長は尾上会員と安藤会員の両氏を議事録署名人として指名した。

(5) 総会成立確認

浜口常務理事より第17回通常総会開催日の出席者11名、委任状による出席者数70名、計81名で、正会員数132名の過半数66名を超えており、定款27条により本総会は成立しているとの報告が行われた。

(6) 審議事項

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | 2019（令和元）年度事業報告について |
| 第2号議案 | 2019（令和元）年度会計収支決算及び監査報告について |
| 第3号議案 | 2020（令和2）年度事業計画について |
| 第4号議案 | 2020（令和2）年度会計収支予算について |
| 第5号議案 | 役員的人事について |

(7) 議事の概要および議決の結果

(7) — 1 第1号議案および第2号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

・ 第1号議案 2019（令和元）年度事業報告について

- ①第28回知的財産翻訳検定<第15回和文英訳>について
- ②第29回知的財産翻訳検定<第14回英文和訳><第3回中文和訳><第3回独文和訳>について
- ③NIPTA特許機械翻訳研究会の活動について
- ④NIPTA理事と知的財産翻訳検定試験1級合格者との交流会について
- ⑤セミナー開催状況について
- ⑥過去問題集の販売数について
- ⑦会員現況について

・ 第2号議案 2019（令和元）年度会計収支決算及び監査報告について

令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）の会計決算について浜口常務理事より活動計算書および貸借対照表等をもとに説明が行われた。引き続き、出席監事を代表して平沼監事による監査報告が行われた。

○採択

第1号議案および第2号議案について議長から質問・意見を求めた。その後採択を行い、全員一致の賛成で承認された。

(7) - 2 次いで、第3号議案および第4号議案について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

- ・ 第3号議案 2020（令和2）年度事業計画について

- ①第30回知的財産翻訳検定試験について

- 受験者数が過去最高であった。その要因として長引く不況や機械翻訳の台頭に對する翻訳者の不安が作用しているのではないかと分析している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため毎回実施している試験委員会や採点委員会の開催が難しく、試験委員の先生方のご負担が懸念されるが、現在6月26日の結果発表に向けて準備を進めている旨の説明がなされた。

- ②第31回知的財産翻訳検定試験<第15回英文和訳><第4回中文和訳>

- <第4回独文和訳> 2020年秋（日）実施予定について

- ③会勢拡大の取り組みについて

- 知的財産翻訳検定試験を通して海外からの新規会員の獲得に努めるべく、主に知的財産翻訳検定試験に関する内容を英文化し、NIPITAウェブサイトに掲載している。NIPITAの他の活動については、追々英文化していく予定であり、ボーダーレスにサービスを提供することを目指す旨の説明があった。

- ・ 第4号議案 2020（令和2）年度会計収支予算について

- 浜口常務理事より、配布資料を元に2020年度の予算案の報告が行われた。

○採択

第3号議案および第4号議案について議長から質問・意見を求めた。NIPITAウェブサイトに掲載されている英文について、会員よりご意見があったため事務局で検討することになった。また、受験者急増の背景について質問があり、今回の受験者は特許翻訳の新規参入者ではなく、これまでも特許翻訳に携わってきた翻訳者が受験していると認識している旨の回答がなされた。その後採択を行い、全員一致の賛成で承認された。

(7) - 3 次いで、2020年度役員の人事について、配布資料をもとに浜口常務理事より説明が行われた。

- ・ 第5号議案 役員人事について

- 浜口常務理事より、現理事柴田富士子氏は令和2年4月1日付で推薦母体である日本弁理士会の副会長を退任し、後任として同会から新たに同会副会長杉村憲司氏の推

薦があったので、同氏を柴田富士子氏の後任として理事に選任する旨の説明があった。
また、石井正氏、東郁男氏、堀部茂遠氏の退任、新たに理事として二宮俊一郎氏を選任する旨の説明がなされた。

○採択

第5号議案について議長から質問・意見を求め、その後採択を行い全員一致で承認された。

6. 閉会

以上をもって通常総会の議事を終了したので、議長は議事進行協力への謝意表明とともに閉会を宣言した。

以上、本議事録が正確であることを証するため、議長および議事録署名人は次のとおり記名押印する。

2020年 月 日

特定非営利活動法人（NPO）日本知的財産翻訳協会

議長 奥山 尚一 印

議事録署名人 尾上 道雄 印

議事録署名人 安藤 惣吉 印